

## 肥満傾向児・痩身傾向児の出現率の算出・判定方法

## 《調査結果に関する注意事項と説明》

1. 本調査の集計・分析において、実技調査、児童生徒質問紙調査、学校質問紙調査の回答の精査を行い、性別不明など一部のデータは集計・分析の対象外としている。
2. 本調査の結果においては、平均値が必ずしも調査結果のすべてを表すものではなく、標準偏差などの情報と併せて総合的に結果を分析し、評価することが必要である。
3. 都道府県別資料は公立学校のみが対象となっている。
4. 児童生徒質問紙と学校質問紙の回答結果（百分率）は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までで示しているため、百分率の合計が100%にならないことがある。（複数回答を除く）

用 語	解 説
標 本 数	平均値、標準偏差を算出した人数。
平 均 値	調査結果の算術平均値で集団の尺度上の位置を示す。「平均値＝調査結果の総和／標本数」
標準偏差	調査結果の個人差の大きさを示す。平均値±標準偏差の範囲内に全体の68%が入る。 平均値±標準偏差の3倍の範囲内にほぼ全体が入る。 「標準偏差＝分散の平方根、分散＝偏差平方和／（標本数－1）、 偏差平方和＝偏差の平方の総和、偏差＝調査結果－平均値」

$$\text{標準体重 (kg)} = a \times \text{身長 (cm)} - b$$

$$\text{肥満度 (\%)} = [\text{自分の体重 (kg)} - \text{標準体重 (kg)}] \div \text{標準体重 (kg)} \times 100$$

## 標準体重を求める係数

年 齢	男 子		女 子	
	a	b	a	b
6 (小1)	0.461	32.382	0.458	32.079
7 (小2)	0.513	38.878	0.508	38.367
8 (小3)	0.592	48.804	0.561	45.006
9 (小4)	0.687	61.390	0.652	56.992
10 (小5)	0.752	70.461	0.730	68.091
11 (小6)	0.782	75.106	0.803	78.846
12 (中1)	0.783	75.642	0.796	76.934
13 (中2)	0.815	81.348	0.655	54.234
14 (中3)	0.832	83.695	0.594	43.264

## 判定基準

肥満度	判 定
50%以上	高度肥満
30～49.9%	中等度肥満
20～29.9%	軽度肥満
-19.9～19.9%	正 常
-29.9～-20%	や せ
-30%以下	高度やせ

（文献：「児童・生徒の健康診断マニュアル（平成27年度改訂版）」より平成27年8月25日発行 公益財団法人日本学校保健会）